

## 市民まつりで地元食材をPR

毎年恒例の栗原市民まつりが、8月31日（土）にイオンスーパーセンター栗原志波姫店特設会場で開催され、市内外から43,500人が来場した。

栗原市農業委員会女性委員会は地産地消の推進活動の一環として、2012年から市民まつりに「地元食材PRコーナー」を出展し、試食品とレシピの提供を行っている。



2015年からは栗原特産ズッキーニのPRに力を入れており、今年は「ズッキーニのスープ」「ズッキーニのしょう油漬け」「ズッキーニのパンケーキ」「ズッキーニとモロヘイヤの和え物」の4つの試食品を約2,000食提供した。

試食した来場者からは「さっぱりしていておいしい」「食感がよい」と好評で、栗原市農業委員会の鈴木康則会長（70）は「生産者をはじめ、JA、県、市などの取り組みにより、栗原産ズッキーニは着実に定着してきている」と手ごたえを感じていた。



このほか会場では、栗原産仙台牛のステーキの振舞い、野菜・きのこの即売、米の品種あてクイズや、地元食材を使った「THE栗原めし・栗原スイーツコンテスト」なども行われており、地元の農産物の認知度向上にも繋がっている。